

CITY OF YOKOHAMA

全国最大規模！
約17万人の子どもたちに持ち運べる図書館を！

学校向け電子書籍サービスの利用開始

～横浜市立小学校・義務教育学校・特別支援学校全校へ導入します～

2025年6月30日
市長定例記者会見



横浜の未来を担う子どもたちに求める力

自ら学び



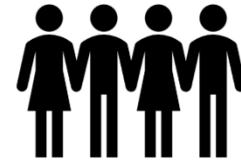
子どもが本に
触れる機会を
もっと増やしたい!

社会とつながり



デジタル社会に
対応した読書体験を
提供したい!

ともに未来を創る



本を通じて仲間と交流し
新たな発想力を
身に付けてほしい

→電子書籍サービスの試行導入（2024年7月～2025年6月）

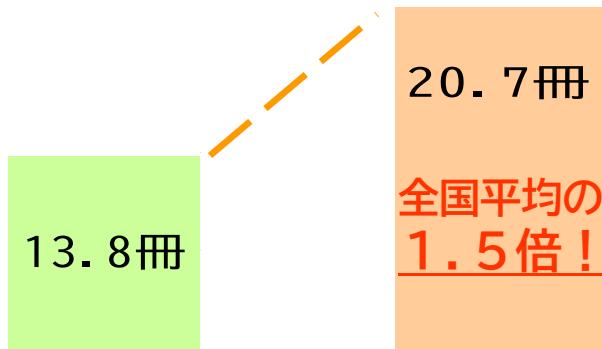
試行導入校9校での成果

* 小学校7校、義務教育学校1校、中学校1校



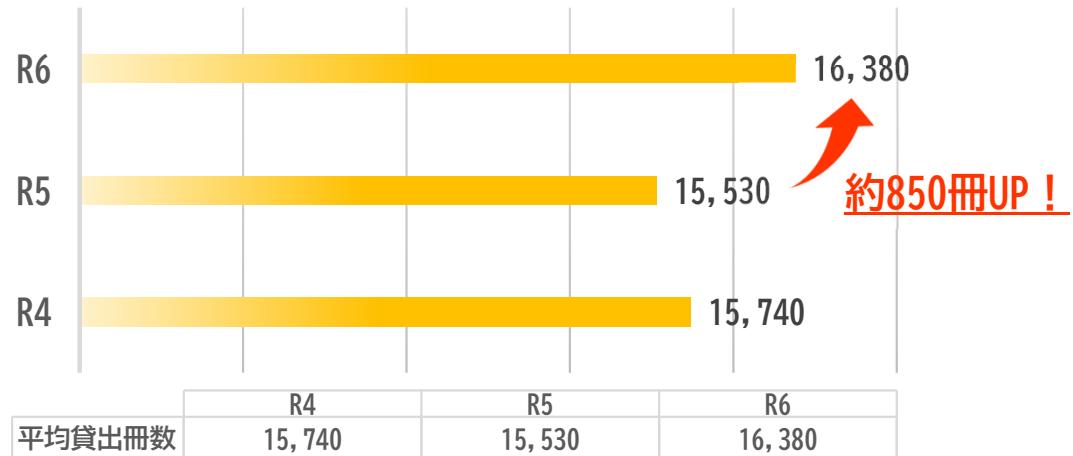
試行校では読書量が
全国平均の1.5倍に増加！

小学生一人当たりの1か月間読書量



試行校の学校図書館利用が増加！
電子書籍をきっかけに
本に親しむ子どもたちが増えています

試行校9校の年度別平均貸出冊数
(冊)



※1 全国平均 「学校読書調査」全国学校図書館協議会
2024年5月1か月間に本を何冊読みましたか。

(教科書・学習参考書・マンガ・雑誌含まず、電子書籍含む)

※2 試行校平均 電子書籍サービス利用5か月間 (24.10-25.02)
1か月平均

子ども、保護者、教職員からも好意的な声が！

- ・貸出中で読めないことがない。
- ・友達が読んでいて「面白そう！」と感じた時にすぐ読めた。

子どもの声



- ・電子書籍で読んで気に入った本を本屋さんで買った。
- ・子どもの興味の幅が広がっているように感じる。

保護者の声



- ・子どもたちが読書の習慣を身に付けるのに役立っている。
- ・子どもたちが自ら進んで調べる場面が増えた。

教職員の声



全国最大規模！

2025年7月1日～



全小学校(335校)・義務教育学校(3校)・特別支援学校(13校)を対象に
学校向け電子書籍サービスの本格導入

横浜の約17万人の子どもたちが、
読み放題型電子書籍サービスを利用します。

電子書籍サービスを導入することで…

いつでもどこでも
気軽に本に触れられる

同じ本を何人でも
同時に読める

42社 4,800冊を
読むことが可能

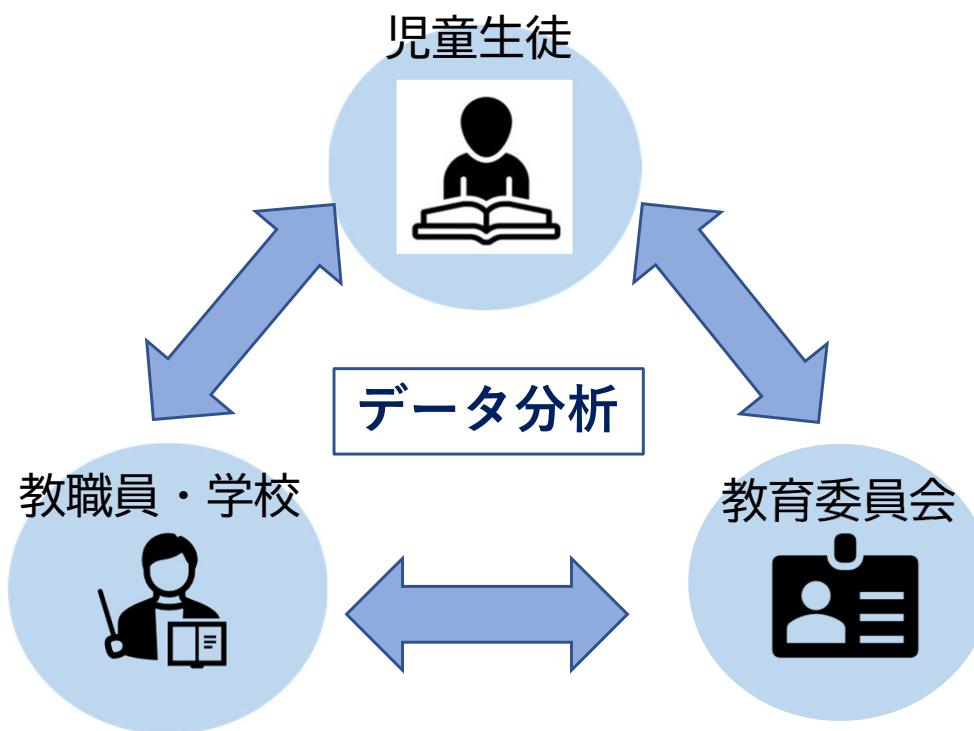
多様な子どもたちの
読書機会の確保
(読書バリアフリー)



子どもたちの
読書状況が確認できる



読書に関するデータを学校教育に活用します



電子書籍サービスの利用を通じて
得られる読書データをもとに、
よりよい学校づくり
に有効活用していきます

横浜の子どもたちへ
充実した読書環境と多様な読書体験を
提供してまいります

